

平成 28 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

1. 学校概要

学校名 芦安小学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒400-0242
山梨県南アルプス市芦安安通 335 番地

E-mail ashiyasu.es@m-alps.ed.jp

Website _____

児童生徒数 男子 13 名 女子 14 名 合計 27 名
児童・生徒の年齢 7 歳～12 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容。

南アルプス市の身近な自然を生かした体験的学習を通して、人間の暮らしと環境・動植物と環境についての理解を深め、人間の活動と自然環境の問題に目を向け、自然環境の保全と持続可能な社会のあり方について考える基礎を育成することをねらいとし、1年間を通して、全学年の発達段階に応じた活動を行った。

① 自然体験活動 全校児童

- 1 日時 平成28年5月13日(金) 9:35~11:30
- 2 目的 自然体験活動を通して、郷土芦安ならびに南アルプスについて再認識し、1,2年生の地域学習 3,4年生の夜叉神登山, 5,6年生の自然体験活動の事前学習として、もっと知りたい, 調べたいという自然学習への意欲を高める。
- 3 活動場所 芦安小学校周辺の森林
- 4 内容 芦安小学校周辺のフィールドワーク

5 活動を終えて

今回は学校の周りの森を散策し、木や花の学習をした。散策中に、ニホンジカの頭蓋骨も見つけた。山の宝物をたくさん採ったり拾ってきたりした。その中で人間は昔からいろいろな植物を様々な場面で利用してきたことを話していただき、人間の自然を生かした知恵を感じることができた。



② 夜叉神登山 3, 4学年児童

- 1 日時 平成28年5月27日(金) 予備日 31日(金)
- 2 目的
 - ・登山等, 野外活動を通して, 豊かな自然を体感する。
 - ・登山等, 野外活動を通して郷土芦安について再認識し, もっと知りたい, 調べたいという意欲を高める。
 - ・集団行動における約束や公共のマナーを身につける。
 - ・学年を超えた集団での活動を通し, 感動する心や思いやりの心・協力する心・

自律心を育てる。

- ・自然の大きさを感じ、自然と自分の関係について考える基礎的な感性を養う。
- ・「南アルプス自然体験推進事業」の目的を意識させて活動する。

3 活動場所 夜叉神峠

4 活動を終えて

- ・事前学習では、昨年登山を経験した第4学年の児童が登山の仕方や注意点、さらに南アルプス市に伝わる夜叉神について調べたことを第3学年児童に発表するなど、体験活動をして言語力の育成や異学年の交流の場としてとらえ学習を進めることができた。
- ・事前学習で、児童から夜叉神登山で学びたいことを話し合った。身体を使って木の幹の太さを測るなど、児童から出た内容にも取り組んだ。
- ・第3学年国語科「きつつきの商売」の発展学習としても登山を活用し、森での音の響きの実験や木々に聴診器をあて、命を感じる体験や森の植物・樹木観察だけではなく活動を広めるプログラムを行った。
- ・森林コーディネーターの方に御参加頂き、自然の見方や登山・下山時の児童の安全も図ることができた。



③ 楡形山登山 5, 6学年児童

1 日時 平成27年7月14日(木)～7月15日(金)

2 目的

- ・ふるさとの山を愛する気持ちを育て、登山の楽しさを知る。
- ・ユネスコエコパーク内でのマナーを知り、その実践力を身につける。
- ・集団行動の中で、お互いを一層理解し、友情を深める。

3 活動場所

1日目 楡形山 伊奈ヶ湖テントサイト

2日目 伊奈ヶ湖周辺

4 内容

《1日目》 晴天

芦安小学校 ・池の茶屋 ・あやめ平(昼食) ・楡形山山頂 ・池の茶屋 ・伊奈ヶ湖 ・テント設営 ・夕食(飯盒炊爨) ・星空観察 ・周辺散策

《2日目》雨天のためクライムツリーをネイチャービンゴ，クラフトに変更
起床・朝食（おにぎり）・片付け・テント撤収・ネイチャービンゴ，クラフト・昼食・振り返り・伊奈ヶ湖発・学校着

5 活動を終えて

- ・登山，飯ごう炊爨，星空観察，テント泊など，どの活動でも子どもたちにとって普段はできない貴重な体験をすることができた。
- ・楡形山登山では，登山をしなければ得られない達成感や充実感を十分に味わうことができた。5，6年生の体力にはちょうど良い登山コースであった。
- ・事前学習で歩き方や友達に対しての言葉がけについて指導したことで，当日も励まし合って登る姿を見ることができた。



④学校林整備活動（全校児童・PTA）

1 日時 平成28年9月30日（金）

2 日程

- ①出発の会（玄関前） 13：10～13：15
・芦安小中PTA副会長あいさつ ・諸注意
- ②出発 13：15
- ③説明・作業 13：30～14：30
- ④終わりの会（玄関前）14：45～
・芦安小中PTA副会長あいさつ ・校長先生のお話 ・児童のお礼のことば

3 作業内容

学校林整備（下草刈り，通路の整備，枝やゴミなどの片づけ等）



4 作業を終えて

初めての新しい学校林での整備作業であった。これまでの学校林において「森

林を守る」という作業（植林・獣被害のための作業・下草刈り）が中心であった。場所も遠く、危険な場所のため、高学年のみでおこなったが、本年度の新たな学校林においては、「森林を育てる」という作業（伐採、枝打ち、ゴミ拾い等）が中心であった。場所も学校の目の前なので、全校生徒で行き、全員が体験をすることができた。また、枝打ちした枝についても、この後の行事である「焼いも集会」の際に利用するなど、つながりが出てきた。

（２）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）